

提言第2号 急性肺血栓塞栓症に係る死亡事例の分析

事例番号：事例2

<事例概要>

整形外科

- ・ 大腿骨頸部骨折で入院した40歳代の患者。BMI 35
- ・ 手術待機の間、ベッド上リハビリテーションと足関節・足趾の自動運動を実施。
- ・ 入院4日目に人工骨頭挿入術を施行。脊椎麻酔後、側臥位とした際に呼吸困難を訴えたため酸素投与。1時間後に胸部不快を認め、さらに不穏となる。直後に血圧・経皮的動脈血酸素飽和度（SpO₂）が低下したため救命処置を施行。心エコーで右心室の拡大が著明であることを確認し、急性肺血栓塞栓症と診断。血栓溶解薬を投与した。胸部造影CTにて両肺動脈に陰影欠損確認。救命処置を継続したが心拍再開せず死亡。